

あらすじ  
ブレス・ユー  
高 校 生 の 魚 月 は 、 海 辺 の ア ト リ エ に 住 む 芸  
術 家 の 女 性 、 仁 美 の 所 に 足 繁 く 通 っ て い る 。  
仁 美 は 魚 月 の 姉 で あ る 陽 子 の パ ー ト ナ ー で  
あ っ た 。 か っ て は 共 に 絵 画 教 室 を 運 営 し て い  
た が 、 今 は も う 辞 め て し ま っ て い る 。  
あ る 時 、 魚 月 は 仁 美 に 「 イ ン ス ピ レ ー シ ョ  
ン 」 と い う 言 葉 の 語 源 を 聞 か さ れ る 。  
そ れ を 「 神 に 息 吹 を 吹 き 込 ま れ る 」 と い う  
意 味 に 解 釈 し て い る 仁 美 は 、 「 私 は 陽 子 に そ  
れ を 吹 き 込 ま れ た 」 と 魚 月 に 話 し た 。  
か っ て 仁 美 は 、 海 で 溺 れ た 際 に 陽 子 の 人 工  
呼 吸 に よ っ て 息 を 吹 き 返 し た 事 が あ っ た 。  
虚 空 を 見 つ め て ぼ ん や り と 話 す 仁 美 の 様 子  
に 、 魚 月 は 一 抹 の 不 安 を 覚 え る 。  
あ る 時 、 仁 美 が 自 室 で 作 り 続 け て い る も の  
が 気 に な り 、 魚 月 は 中 を 覗 き 込 ん で し ま う 。  
そ こ で 目 に し た の は 、 仁 美 が 陽 子 に よ く 似  
た 人 形 に 口 づ け を す る 姿 だ っ た 。

仁美は人形の中に自らの息を吹き込んでいたのだ。その夜、いてもたってもいられなくなった魚月は、姉によく似たその人形を盗み出し、夜の海辺を走って逃げる。追いかけてきた仁美は、祈る対象としてのその人形が必要なのだと訴えた。陽子は、海に流されて亡くなっていた。二人の関係を認めようとしなかった陽子の母親に阻まれ、遺品の一つも受け取れず、葬儀にも参列できなかった仁美は、己の身体に吹き込まれた息吹に抛り所を見出して、それに実体を与えようとしていた。魚月は、自らも避けていた陽子の死という事実と向き合い、その人形は陽子ではないと訴える。仁美に拒絶され、魚月は暗い意識の底で陽子と邂逅する。魚月はもう一度腕を伸ばし、仁美の身体をしっかりとつかまえる。